

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和3年11月18日(木)13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、有吉上席安全審査官、北條主任技術研究調査官、
加藤原子力規制専門員

検査グループ 核燃料施設等監視部門

栗崎企画調査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他12名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、配付資料に基づき説明があった。

○また、原子力機構より、ガラス固化技術開発施設（TVF）におけるガラス固化処理の再開に向けた対応状況について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料1について）

- ・ 工程洗浄の実施期間を終えた段階で、当初定めた工程洗浄終了の判断基準を満たしていなかった場合における、工程洗浄継続の判断時期及び判断プロセスを明確にすること。

（資料3について）

- ・ 低放射性廃棄物処理技術開発施設（LWTF）運転に向けた対応スケジュールについて、当初の計画に対して現時点の検討がどれだけ進捗しているのかを明確にすること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1 工程洗浄の方法について

資料2 安全対策以降の廃止措置の進め方について

資料3 低放射性廃棄物処理技術開発施設（LWTF）運転に向けた対応状況について

資料4 高放射性固体廃棄物貯蔵庫（HASWS）におけるプール水喪失時の線量評価について

資料5 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）